

Lesson5 <助動詞>

p.30 解説

Point1 助動詞のはたらきと用法

- ① 助動詞のはたらき：動詞の前に置かれ、動詞に意味をつけ加える。

[比較] She swims well.

She can't swim well.

※ 助動詞の後の動詞は必ず原形になる。

- ② 助動詞の否定文・疑問文

すべての助動詞の否定文・疑問文は be 動詞と同じ扱いになる。

- ・否定文：助動詞の後に not をつける。 → 主語 助動詞 not 原形動詞 ～.
- ・疑問文：助動詞を文頭に出す。 → 助動詞 主語 原形動詞 ～?

Point2 助動詞の種類と意味

- 《can》 a) 「～できる。」(可能)
b) 「～してよい。」(許可)

- 《may》 a) 「～してよい。」(許可)
b) 「～かもしれない。」(推量)

[例] Mike got up late this morning. He may be late for school.

- 《must》 a) 「～しなければならない。」(義務)
b) 「～にちがいない。」(推量)

[例] Mary looks very pale. She must be sick.

- 《should》 「～すべきだ。」(義務)

Point3 助動詞の働きをする語句

- 《have to ～》 「～しなければならない。」= must

[例] You have to go there.

※ don't have to ～ 「～する必要はない」 (= don't need to ～, need not (needn't) ～)

- 《be able to ～》 「～できる。」= can

[例] He will be able to swim soon.

- 《had better ～》 「～したほうがよい。」

[例] You had better go to bed now.

※ 否定形→had better not ～ 「～しないほうがよい。」

- 《would like to ～》 「(できれば)～したい」 want to～より控えめな表現

[例] I'd like to see her. (I'd = I would)